

# 豊臣秀吉の章

天正18年(西暦1590年)、織田信長の家臣であった豊臣秀吉が、その遺志を次いで天下を平定してからというもの、日本は一時的ではあるにせよ、平和な日々が続いていた。

だが、その平和の裏には、検地、刀狩りにみられるような農民の弾圧や、キリスト教を信仰する人々の弾圧があった。しかも、それは日ごとに激しさを増し、処刑された宣教師や信者の数は、はかりしれないものとなっていった。

さらにまた、秀吉は天下の統一のみならず、明の国をも征服しようとした。そして、文禄元年(西暦1592年)と慶長2年(西暦1597年)の2度にわたってまで、朝鮮に出兵させたのだ。

これを見たエティスは、「秀吉に魔がとりついておる!」と確信、急ぎソーサリアンを日本へ送り込んだのである。

## 登場人物



## 敵モンスター



### 豊臣秀吉(1537-1598)

尾張の農民の子として生まれた秀吉は、信長に仕えるようになると、めきめき才覚を発揮。のちに中国遠征の総大将に任せられる。信長の死後はその遺志を継ぎ、日本統一に奔走。1585年に紀伊、四国を、1587年に九州を、そして1590年に小田原の北条氏を滅ぼした後、さらに奥州をも平定、ついに日本統一の偉業を成し遂げた。



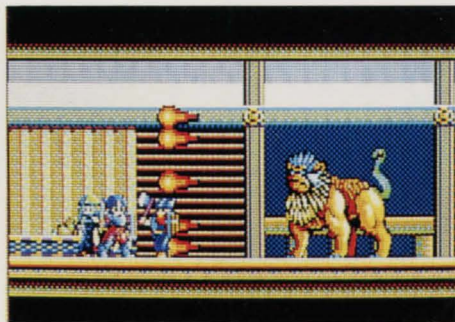
### カルロス神父

はるばるポルトガルから、キリスト教の布教のために日本に来たが、秀吉のキリシタン禁止令のため、弾圧され、捕われてしまった。



### 出雲屋政吉

太閤秀吉のお膝元、大阪にある呉服問屋、出雲屋の主人。



## めえ

頭は猿のごとく、胸は狸に似て、尾は蛇、手足は虎という狂暴な妖怪。火の弾を2発吐いたあと、石化弾を1発吐き、飛び回ったのちに、一定時間静止するので、このときをのがさず、突っ込んで攻撃しよう。そして、火の弾を吐き始めたら逃げるのだ。これを繰り返し、100回叩けば、退治することができる。